

Hokkaido University News

北大時報

令和6年

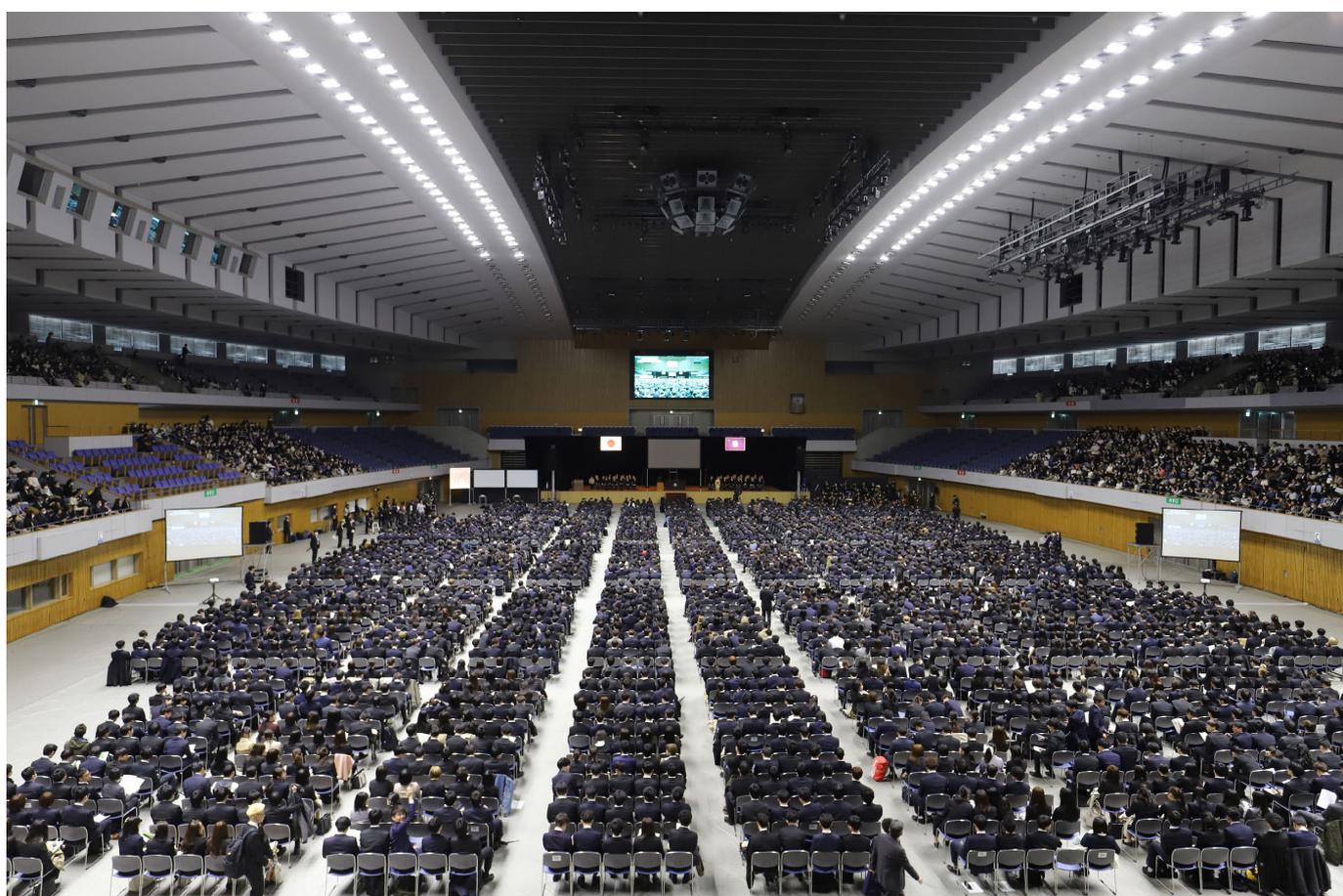
4

No. 841 April 2024

令和5年度学位記授与式の挙行

令和6年度入学式の挙行

令和5年度「北海道大学永年勤続者表彰」表彰式を挙行



医学研究院が「第4回 Clinical AI アニュアルシンポジウム」を開催

2月15日（木）に、医学研究院が運営している医療AI開発者養成プログラム（CLAP）に関わる「第4回 Clinical AI アニュアルシンポジウム」を開催しました。本イベントは、北海道大学医学部臨床講義棟及びオンライン（Zoom）配信のハイブリッド形式で行われ、現地から28名、オンラインから216名、計244名の方々にご参加いただき、盛況のうちに終わりました。

Clinical AI アニュアルシンポジウムは、令和2年度に東北大学（主幹校）、北海道大学、岡山大学の3大学が樹立し、文部科学省に採択された「Global×Localな医療課題解決を目指した最先端AI研究開発」人材育成教育拠点－Clinical AI－の成果を発表する場として年に1度開催されています。4年目となる令和5年度は、北海道大学が当番校として開催しました。

Opening Remarksでは、寶金清博総長、文部科学省高等教育局の俵 幸嗣医学教育課長、東北大学の張替秀郎副学長、岡山大学の豊岡伸一医学部長、並びに北海道大学の畠山鎮次医学研究院長より開会のご挨拶及び本プログラムにおける今後の抱負について語られ

ました。

過去4年間にわたり、東北大学、北海道大学、及び岡山大学は、医療AIの分野での教育と研究に深く取り組み、医療AIの教育を行ってきました。この集大成に関し、東北大学病院AI Labの園部真也助教、岡山大学学術研究院AI人材養成産学協働プロジェクトの谷岡真樹准教授、本学医学研究院の平田健司准教授が発表を行いました。

「大学院生の報告」セッションでは、東北大学、岡山大学、及び北海道大学の大学院生が、それぞれの大学での活動とAI研究の進捗を報告しました。

発表後の質疑応答セッションでは、座長である本学医学研究院の工藤興亮教授のもと、活発な議論が展開されました。

シンポジウムの後半には、「社会変革における医療情報・AIの役割」と題した特別講演が、本学保健科学研究院の小笠原克彦教授によって行われました。この講演では、現代社会における医療情報技術とAIの革新的な役割について、深い洞察が共有されました。

続いて、メディカルAI人材養成産学協働拠点から名古屋大学大学院医学

系研究科の木村 宏研究科長よりご挨拶及び拠点紹介がなされました。木村研究科長は、ご挨拶と共に、拠点の活用概要、また、医療AI分野での革新的な研究と教育への貢献について紹介されました。

本シンポジウムは、北海道大学病院の渥美達也病院長による締めくくりの言葉で幕を閉じました。渥美病院長は、シンポジウムを通じて展開された議論、発表された研究成果、そして共有された知見に感謝の意を表しました。

医療AI開発者養成プログラムでは、今後も、人脈形成、国際的視野の形成、共同研究の機会や将来のビジョン、キャリアパスの形成に繋がるようなイベントを積極的に開催していきます。学部生、大学院生、教職員の皆様の積極的なご参加をお待ちしております。

医療AI開発者養成プログラム
<https://ai.med.hokudai.ac.jp/>

（医学研究院）



開会のご挨拶をされる寶金総長/
 文部科学省高等教育局の俵医学教育課長



開会のご挨拶をされる東北大学の張替副学長/
 岡山大学の豊岡医学部長



開会のご挨拶をされる畠山医学研究院長/
 小笠原教授による特別講演



メディカルAI人材養成産学協働拠点ご挨拶及び拠点のご紹介をされる
 名古屋大学の木村医学系研究科長/閉会のご挨拶をされる渥美病院長

